



東京都八王子市  
NPO 法人 八王子市民活動協議会 中川 和郎 さん

**Q** 差し支えなければ、年齢と出身地を教えてください。

**A** 1966年6月生まれの57歳。生まれは東京都立川市です。

父の仕事の関係で小学生の時、2年間、千葉県旭市に住んでいましたが、それ以外は立川市で過ごしました。今でこそ、立川市は、立川駅周辺が多摩地域でトップクラスの商業エリアになりましたが、私が育った時期は、米軍立川基地が返還された時期でもあったので、「基地のまち」の面影が強かったです。

結婚して立川市を離れ、八王子市の多摩ニュータウン地域に移住して現在に至っています。

**Q** ごみ問題に関心をもつようになったのは何故ですか？

**A** 1990年7月に武蔵野市役所に入庁しました。恥ずかしいことですが、当初はごみ問題にはあまり関心がありませんでした。

2013年4月の人事異動で環境部ごみ総合対策課に配属になってから、関心を持つようになりました。仕事をすることで、ごみ問題が自分ごとのように感じるようになり、地方自治の現場がごみ問題なんだと実感するようになりました。

廃棄物資源循環学会など、いくつかの学会にも入会し、研究部会に参加したり、研究発表や研究論文の執筆もするようになりました。

**Q** ごみかんに入会して下さったきっかけは？

**A** ごみ総合対策課にいた時、職場の回覧で「ごみっと・SUN」を知りました。読んでみたら、市民目線での視点でごみ問題について記述されていましたが、それだけではなく最新のごみ問題についての記述が豊富で読むだけで勉強になりました。実務を通じてもっと掘り下げてごみ問題を学んでいきたいと思い入会しました。

いろいろな立場の方々が講師になっての講演会やセミナー、またはパネラーになってのシンポジウムなどに参加することにより、ごみ問題をより深く学ぶことができ、ごみ問題が個人的なライフワークになっていました。

**Q** ごみ問題に関わることで以外で趣味や生きがいは？

**A** 「ヘルストロン」いう椅子に座る温熱治療機があるのですが、店舗や医療クリニックなどに置いていて、できるだけ毎日座るようにしています。座る時間は20分から30分ほど。心身ともリラックスでき、気分転換に最適です。

他には「食」です。和食系料理をいただくことです。精進料理、刺身や焼き魚などの魚介類、鍋物を食べたりすることが大好きです。

**Q** 特筆すべき近況があれば教えてください。

**A** ごみ総合対策課を離れてから4年になりますが、現在は、八

王子市の生ごみリサイクルリーダーとして、八王子市のダンボールコンポスト講習会の講師などの活動をしています。大変ありがたいことに、多くの方々が参加していただき、熱心に聴いてくれます。また質問もたくさんいただきます。実務で学んだことを地域活動の場で還元できたらと思います。



**Q** ごみかんにご期待したいこと、あるいは提案したいことをお聞かせください。

**A** ごみかんは、環境省・自治体など廃棄物処理行政の実務に関わっている方々、学識の方々、廃棄物処理業に関わっている方々、流通業に関わっている方々、NPO法人・市民団体に関わっている方々などなど、いろいろな方々とのつながりがあります。その強みを生かして、ごみ問題においてより客観的な分析をしていただければありがたいと思っています。

中川さんには、2021.11発行のごみっと・SUN vol.28から3回にわたって「八王子市清掃事業の変遷」を執筆していただきました。ごみかんのホームページからバックナンバーを読むことができます。